

参加者の感想



平成22年11月に開催した3回目の研修会参加者に修了後の感想を伺いましたので、一部をご紹介します。この研修会を機に緩和ケアに対する認識を新たにしていただけると運営スタッフとしては何よりの励みになります。

閉会は全員で一本締めし、
ある種の達成感に満ちていました。

「後期研修が始まったばかりで、まだ自分で患者さんに説明することはなく、（医療用）麻薬をはじめめることもあまり機会がないが、これから多くのがん患者さんとつきあっていくことになるので、できるだけいい時間を過ごしていただけるようにサポートできる医者になりたいと思いました。ありがとうございました。」
（当院後期研修医）

「はじめてロールプレイというのを経験したのですが、色んな立場になってその立場で考えることができ、非常にこれからの診療に有効に役立つと思いました。」
（河西外科病院 上井医師）



「本別からこちらの研修に交えていただきありがとうございました。」

感染対策等で市立札幌病院のマニュアルとか研修会を注目してインターネットで見させていただいています。この病院は先進的な教育のプログラムが充実している病院と認識しておりますので、今後とも、いろいろご指導いただければありがたいと思います。」

（本別町国民健康保険病院 北岡医師）



「病棟でもよく緩和ケアの先生にきてもらって、薬のコントロールとかしていただいています。薬のことは漠然としか分かっていなかったんですけども、今回の研修会に参加させていただいて、薬のコントロールの基本というところを少し分かったので、今回の学びを病棟のスタッフにも活かしていければと思っています。その他にもいろいろな精神症状だとか、病棟のスタッフだけじゃなくて、患者さんを取り囲む周りの人たちとか、地域連携とか他のメディカルの方たちと一緒に、今後はカンファレンスを開けたらいいなと思っています。」
（当院看護師）



修了証書授与後、研修会参加者を労う吉田院長

研修会に是非ご参加を

平成22年の診療報酬改定では、緩和ケアの経験を有する医師がこの研修会を修了し、緩和ケアを要する患者さんに対して必要な診療を行った場合、がん性疼痛緩和指導料等を算定できるようインセンティブが付与されました。

今後、各がん診療連携拠点病院等で開催する緩和ケア研修会の開催日程が決まった段階で北海道のホームページ（http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kak/gan_kenshu.htm）へ掲載されますので、ご確認の上お問い合わせください。

当院の第4回目となる研修会の日程が決まり次第、連携医療機関の皆様にご案内させていただきますので、ご都合がございましたら参加していただくと幸いです。

緩和ケア研修会 事務局
三上 貴弘（地域連携センター）